

竹川病院 医療相談室 主任 藤原 真人

功 績 医療相談室の主任として、主要な取引先である日本大学板橋病院と新たな連携システムを導入構築した件。また帝京大学医学部整形外科との新たなパイプを構築した功績。

推 薦 者 矢吹 周二

推 薦 理 由 回復期病棟という入院期間の限りのある病棟において、紹介数の増加が急務と言えます。特に回復期の競争が激しい板橋区というエリアにおいては、パイプの取り合いという状況にもなっており、紹介数の増大を見込める今回の藤原さんの医療連携体制構築を功績として理事長賞に推薦いたします。

内 容

当院において医療相談室は、前方連携と後方連携を一手に担っており、ベッドコントロールの要となる重要な部署であります。そのなかでも主任職は前方連携の中核を担っており、病院の顔ともいえる存在です。

今回藤原さんは当院の一番の連携先である、日本大学医学部付属板橋病院との間に、新たな連携システムを構築しました。内容としてはケアブックコネクトというもので、当院の入院判定に必要な最低限のデータを先方の連携担当者に入力してもらい、簡易判定を行うといったものです。

またチャットシステムもあり、お互いの時間を圧迫せずに連携を行うことができる。電話相談の手間（不在時の折り返し対応）を大きく省くことができ、お互いの業務効率化につながっています。新たなシステム導入、立ち上げという大変な作業を行うことによって、よりよい連携関係に至っています。

また、同じく前方連携としての功績ですが、帝京大学医学部付属病院との間に新たなパイプを構築されました。整形外科の医局と直接交渉し、連携病院として認めてもらい、新たな入院患者の定期的紹介および、当院の整形外科外来に帝京大学医学部付属病院より派遣をしてもらうことになりました。また併せて先方の連携担当者である医療相談室とも協働しスムーズな入院紹介、医療連携を構築しました。